



おかじまさのぶ
岡島政信 議員
OKAJIMA Masanobu

Q. 住民の意向を的確に把握しては

A. 意見交換する場を設ける

町は、建設から約33年経過し、施設の老朽化が激しいなどの理由により、令和6年度をもってスカイプールの利用廃止を方針として示した。

私は、町が将来にわたる健全な財政運営を維持するには、スカイプールだけでなく、今後、公共施設全体の在り方を考え、これをマネジメントしていくことが非常に大切と考える。

今後利用者を使いやすい施設として維持管理するには、経年劣化に対応するための多大な修繕費用が必要となる。

特に町の今後を担う子どもたちが使う施設は、使いやすいうことはもちろん、安全性に十分配慮するとともに、成長期においてできるだけ思い出深く、快適に過ごせるよう、配慮する必要があると考える。

◎ スカイプールだけでなく、各学校施設を含めた公共施設全体を網羅したマネジメントに関する町の考えは。

A 理事
町の公共施設の多くが、大規模な改修や建て替えが必要な時期となっているが、厳しい財政状況からすれば、充てられる予算は限られる。

公共施設のマネジメントでは人口減少や少子高齢化を踏まえ施設の更新、統合、機能の見直し、廃止といった判断を適時適切にする必要がある。

◎ 保護者をはじめとした住民の意向についての確に把握した上でマネジメントを考えることが大切である。町としての考えは。

A 理事
公共施設全体のマネジメントでは、実際に施設を利用される町民の方々の想いを把握することが大切である。

このような観点から、町民の皆さまと直接意見を交換する場を設ける。

今後も節目節目に町民の皆さまの意見を聞かせていただくプロセスを大切にしていきたい。

Q. 財政運営の見通しは

A. 厳しい状況が続くと考える

我が国の経済は、コロナ禍により大変厳しい状況に置かれたが、令和5年5月の5類への移行後は明るい兆しも見えた。

一方、海外の紛争による影響は、原材料費の高騰の長期化を招き、物価全体を押し上げ、各家庭への影響も憂慮する。

このような不透明な状況のなか、本町の令和5年度当初予算では、財政調整基金の一部を収入として見込んでいるが、社会経済情勢の変化に対応しながら、新たな政策課題や町民の多様なニーズに的確に 대응するためには、一層の財政の健全化に配慮しつつ、財政運営に取り組む必要がある。

◎ 令和5年度と令和6年度の町税収入の見通しは。

A 総務部長
令和5年度の町税収入は、おおむね当初予算で見込んだ額になると予想する。

令和6年度の町税収入の見通しは、今後の国内外の経済情勢などを注視し、慎重に見極めていく。

◎ 令和5年度の財政運営の見通しは。また、令和6年度予算に向けた見通しは。

A 総務部長
この数年の予算は、財政調整基金の一部を取り崩した予算編成となっている。令和6年度も同様と見込んでいる。

本町の財政運営は、厳しい状況が続くと考える。引き続き経費の効率的な執行やさらなる財源確保に取り組む、求められる施策を着実に推進する。